

第2節 資料館における社会貢献活動

第9回公開授業『古代人の知恵に挑戦！－古代のお米をつくってみよう－4』を開催

はじめに

当館では、平成13年度より、考古学や埋蔵文化財、山口大学構内遺跡の調査研究成果を地域の皆様に身近に感じていただくことを目的として、公開授業を開催している。

第9回目となる平成21年度の公開授業は、昨年度に引き続き、日本のお米のルーツとされる赤米をつくり、土器で炊いて食べてみるという内容である。今回は、埋蔵文化財資料館と山口大学農学部との共催で、吉田構内の山口大学農学部実習農場で延べ3回に渡って行い、小学生1人、保護者・一般、教育学部学生など16名、総勢17名の皆様に参加していただいた。以下、授業内容を報告する。

6月20日(土)－田植え－

今年は種籾がカビにより全滅してしまったため、急遽「紅吉兆」という品種(もち米)に変更した。このため約1ヶ月遅れのスタートとなった。当日は農学部の長砂技術専門職員に代かきをしていただいた水田に田植えを行った。参加者は、足が予想以上に泥に埋まるため動きづらそうであったが、次第に慣れてくると泥の感触を楽しんでいるように見受けられた。

10月10日(土)－収穫－

昨年と比較して約3週間遅れとなったが、秋晴れの晴天の中、無事に収穫を迎えることができた。最終的に稲は長さ約80～90cmにまで成長した。今回栽培した「紅吉兆」は品種改良されているため、昨年度まで栽培していた赤米と比較して、成熟具合に差がなく、高さがほぼ揃っていたのが印象的であった。収穫には模造した石庖丁、木包丁、貝庖丁と猪の牙などを使って穂摘みを行った。初めは穂摘みにとまどう参加者もいたが、すぐに慣れてきたようであった。その後残った稲を鎌で根刈りをして、はぜ架けを行った。

10月31日(土)－脱穀・粳すり、赤米を食べる－

秋晴れの晴天の中、公開授業最終日を迎えることができた。参加者は午前中に箸こぎ、臼と杵による粳すり、てみとザルによる選別とともに足踏み脱穀機による脱穀や唐箕による選別を体験した。そして、いよいよ赤米の試食を迎えた。今回は栽培した赤米がもち米ということもあり、古墳時代の甑(こしき)と甕(かめ)を模造した土器を使用し、赤米を蒸すことに挑戦した。甑の底にスノコを敷いて赤米3合を入れ、水を入れた甕の上に甑を据えて薪で強火で焚いたところ、約1時間後に無事蒸し上がった。このほか、土器でも赤米を炊飯したが、蒸した赤米・炊飯した赤米、両者とも歯ごたえがあるもの大変美味しく甘みがあった。このほか、おかずにはアユの塩焼きや、豚汁、あさりのすまし汁をつくったが、これらも大変美味しく好評であった。

公開授業を終えて

今回の公開授業について、参加者からは「日頃できない様々な貴重な体験ができ、とても満足できました」「体験を通して脱穀や粳すりはとても時間と根気のいる作業であることがわかった」「古代人のお米に対する想いに少しだけ触れることができた」などの声が寄せられた。参加者には米作りの歴史や大変さを実際の体験を通して学んでいただくことができ、公開授業の目的を達成することができたと感じている。今回は種籾がカビで全滅するという大きなアクシデントがあったが、盛況のうちに無事終了することができた。この場を借りて、館員一同心より御礼申し上げたい。



写真175 縄ない (6月20日)



写真176 苗の説明 (6月20日)



写真177 苗の観察 (6月20日)



写真178 田植え (6月20日)



写真179 稲の状況 (9月7日)



写真180 収穫具の説明 (10月10日)



写真181 穂摘み (10月10日)



写真182 脱穀・籾すりの説明 (10月10日)



写真183 脱穀・粳すり 1 (10月31日)



写真184 脱穀・粳すり 2 (10月31日)



写真185 粳すり後の風選 (10月31日)



写真186 粳すり後の選別 (10月31日)



写真187 足踏み脱穀機による脱穀 (10月31日)



写真188 甑と甕の使用状況 (10月31日)



写真189 ドングリクッキー (10月31日)



写真190 食事風景 (10月31日)

2. 中学生職場体験の受け入れ

平成20年度に続き、本学教育学部附属山口中学校生徒2名の職場体験の受け入れを行った。

1月26日(火)

午前:埋蔵文化財資料館業務の説明・出土資料(土器)の洗浄作業

午後:資料館展示室の機材搬出作業・出土資料(土器)の洗浄作業

1月27日(水)

午前:展示品(古墳時代製塩風景模型)の製作

午後:出土資料(土器)の注記作業

1月28日(木)

午前:出土資料(土器)の注記作業・出土資料(土器)の接合作業

午後:山口市朝田墳墓群第2次調査の見学・学習(山口市教育委員会の協力による)

2名とも事前に抱いていた「遺跡を発掘する仕事」のイメージと実際が異なると感じたようであるが、体験後「根気よく地道に仕事をする事の大切さが実感できた」との声が寄せられた。



写真 191 中学生職場体験風景